

令和3年度 提案型協働事業 評価票

**【事業名】 街は大きなテーマパーク！  
子連れお出かけマップでみんなに優しく楽しい街に**

| 赤ちゃんとお母さんのサロンの会  | こども保育課   |
|--|--|
| <b>(1)協働の相手方と信頼、尊重し合う関係を意識しながら企画事業を行うことができましたか。</b>  |  |
| <p>会津若松市は先進的な取り組みや様々な資源があるのでは？と感じていたため、市のもつリソースを最大限活用し、その情報がより市民に分かりやすく届くようにと考えました。そして、市の施設やアプリなど、市民がより使いやすいモノとなるようにと事業の企画実行をしました。市のこども子育てプランを確認し、より具体的な状況や今後の方針など、お話頂けるとさらに良かったと感じます。</p>                 | <p>信頼と尊重があって協働事業を行うことができるので、その関係を意識し、大切に考え事業を行うよう努めた。</p>  |
| <b>(2)事業の課題認識と目的を協働の相手方と共有することができましたか。</b>   |  |
| <p>「遊び場が少ない」「情報が行き届いていない？」との課題については、共有出来たと思う。ですが、その課題を解決する為に、どのように？どこまで結果を求め行動するのか？の部分は、温度差があった様に思います。</p>   | <p>相手方と同世代の当児童館職員が、スタッフの立場で関わることで、課題認識と目的が共感でき、作業をすすめることができた。</p>  |
| <b>(3)自らは、当初想定した役割を果たすことができましたか。</b>   |  |
| <p>6回のワークショップを実施しながら、配布用のイラスト MAP、公式ホームページと WEB マップ、オープンデータを作成しペコミンへの表示、計画した内容は全て実施が出来た。また、より利用や使い方を説明できる様、公式 LINE も作成し想定以上に実施ができたと思う。ワークショップだけでは出来ない、紹介文の作成やデータ入力、掲載の許可取りなど、参加したメンバーと一丸となって制作する事ができた。</p> | <p>何を求められているか、何をすれば良いのか考えながら取り組んだ。<br/>自分たちの当初の想定と、相手方との想定の違いやとらえ方の違いを感じる事があったが、その都度相談しながら、役割を果たすように努めた。</p> |
| <b>(4)事業の進捗状況や情報を協働の相手方と共有することはできましたか。</b>   |  |
| <p>打ち合わせなども定期的に行いながら、電話やメールなどでもマメに連絡を取りながら実施ができたと思う。また、児童館の方へはマメに足を運ばせて戴きながら、アドバイスや様々なご協力を頂き、作成物やデータに間違いがないか？一緒に確認しながらできた。</p>   | <p>ワークショップやその事前打合せの会場として、児童館を使用していただき、必然的に顔を合わせ、協議及び作業する機会を重ねることで、進捗状況や情報を共有することができた。</p>                    |

**(5)協働の相手方と互いの特性を活かすことができましたか。**

市のもつネットワークや情報(様々なデータ)などは、私達市民団体では難しいところですが、こども保育課はもちろん各課の方々に情報提供や出前講座をして頂いたのは大変有り難かった。DATA for CITIZENのオープンデータも活用させて頂きました。

また、会場も提供頂き、ワークショップ以外の打ち合わせや作業時も利用できた事は大変感謝しております。

そのような協力を頂いたお陰で、メンバーと活発に集まりながら、私達は私たちの強みである“当事者目線”での企画や制作に打ち込む事ができました。

データ入力作業等への協力は限られたかたちとなった(あまり協働作業に貢献出来なかった)。しかし、マップ作りの参考になると考え、児童館で実施している行事や子どもたちと探索に行った場所などを紹介した。

・子育て中のお母さんたちの行政に対する意見や、子ども公的な子育て支援の場であったり子どもが利用する施設に対しての意見を聴くことができたことは、特性を活かすきっかけとなった。

**(6)この事業を協働により実施することで効果は上がりましたか。**

学校や市の関連施設への配布や、事業資金、より多くのデータや情報など、私たちだけではなかなか難しいところをサポート頂けて感謝です。「遊び場が少ない！」との課題も市と共有でき、1歩、解決に向かったと感じます。

また、掲載先に承諾を得るときなど、市と協働で行うことで信頼を得られ活動しやすかった。完成後の周知効果も高く、市長との対談も協働事業だからこそ実現できた。

地域に出向きながら活動する中で、市やママたちの想いも地域の方々にアピール出来たと思う。地域の方からも、子育てに協力・積極的に取り組む街という想いが感じられた。

紙版マップ2022とWEB版マップ作成に当たっては、行政の気づきだけではなく、子育て家庭からの情報が多く寄せられ、魅力的なマップに仕上がったと考える。

**(7)その他、この事業を通じて感じたことや、相手方への要望、制度の改善策等について**

・市の職員の方々から、子育て経験や子どもについてどうすべきか?もっと出して頂き、企画やワークショップに積極的に参加頂けると、さらに良かったと思います。

・市にはもっと積極的に市民の声を聞く姿勢を見せてほしい。新しい施設建設や取組も役所の中の会議での意見ではなく、まちの声(当事者)を聞いて作ってほしい。

・児童館がアピール不足と感じます。おでかけMAPを通じて知ってもらえるよう考えています

ワークショップの会場確保や出欠確認をスムーズに行うために、次回以降のワークショップや事前打合せの大まかな日時を決めておいて臨んでも良かったか。

マップ作成の事前打合せ等において、次の役割分担(作業内容)の見える化(図、表などで)により認識を共有することは大切である。

が、市でも、もっとこんな素敵な場所があるという事をどんどん発信して欲しい。また、こんなに大きな街に児童館がひとつは少なすぎる、老朽化は仕方がないが児童館をリニューアルし廃止しないで欲しい。

・ぜひ増版して、今後も長い期間、転居者や母子手帳交付時など配布・活用して欲しい。

・転入者に渡す資料の中に、おでかけマップを入れていただけると嬉しい。転入者同士や、地元の人と交流できる機会なども今後一緒に企画し、情報発信出来たらと思う。

・市のホームページで、おでかけMAPのHPバナーを表示頂けるといいと思う。こども保育課のHPでも、もう少し使い方など詳しく紹介して頂けたら？

・まずは、こども保育課の皆さんに使い方を理解していただき、積極的に活用を推進して頂けたら嬉しいです。活用講座もいつでもやらせて頂きます。

・協働に関しては、市は忙しくされていてこちらも遠慮してしまったり、お互いのペース配分が難しい。同じ手引きを見ながらすり合わせしたり、単年ではなく継続的な事業として出来るようにならないと、課題解決や将来展望の実現は半ばで終わってしまうのでは？